

11 家族と運動・スポーツ

11-1 家族との運動・スポーツ、運動あそび実施状況

4～11歳の回答者の保護者に対し「調査をお願いしたお子様は、あなたご自身を含めご家族と普段、運動・スポーツ・運動あそびをしていますか」とたずね、「よくしている」「時々している」「ほとんどしていない」「まったくしていない」の4段階で回答を求めた。

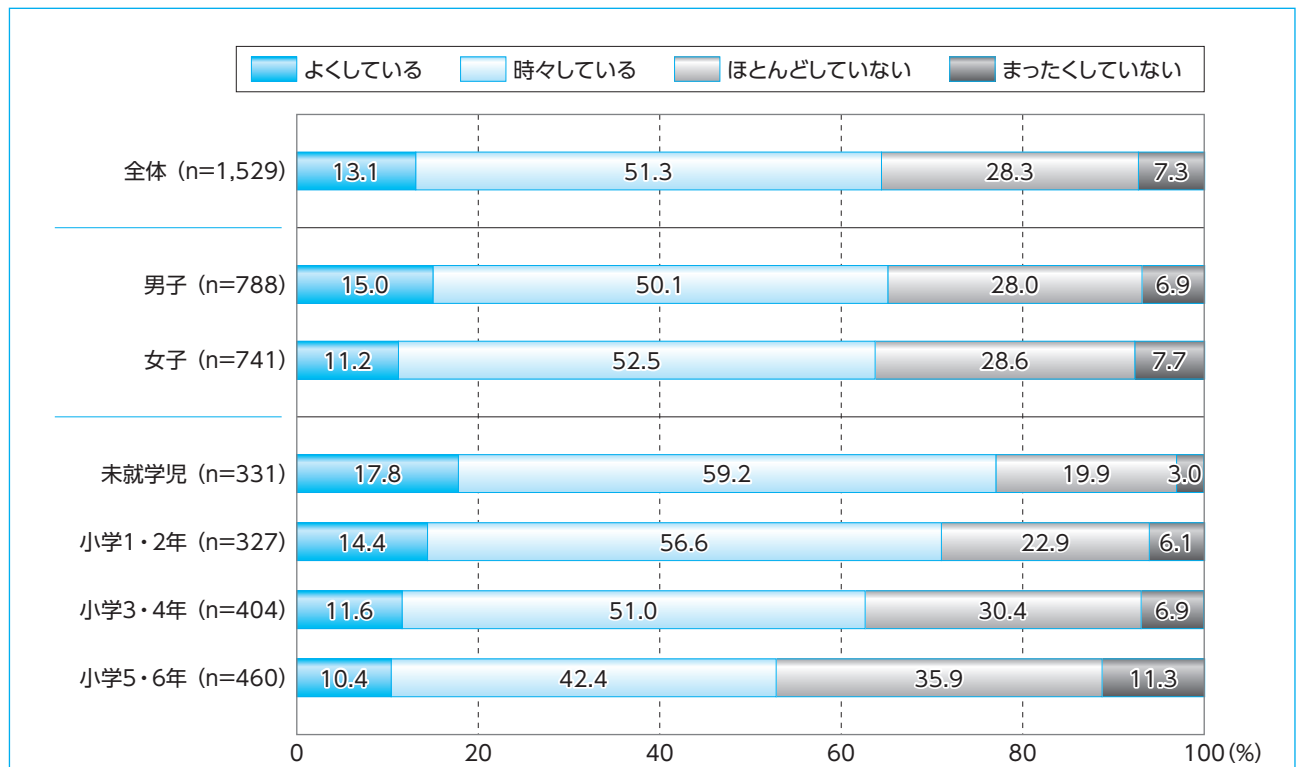
図11-1に示す全体をみると「よくしている」13.1%、「時々している」51.3%、「ほとんどしていない」28.3%、「まったくしていない」7.3%であり、4～11歳の子どもの6割程度が、家族で運動・スポーツ、運動あそびを行っていた。

子どもの性別にみると「よくしている」と「時々している」を合わせた割合は、男子65.1%、女子63.7%であった。

子どもの就学状況別にみると「よくしている」と「時々

している」を合わせた割合は、未就学児77.0%、小学1・2年71.0%、小学3・4年62.6%、小学5・6年では52.8%であり、学年が上がるにつれて家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施率は低下する。

図11-2に子どもの性別・就学状況別にみた家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施状況を示した。「よくしている」と「時々している」を合わせた割合は、男子では未就学児75.9%、小学1・2年69.5%、小学3・4年63.3%、小学5・6年56.9%であった。女子では未就学児78.3%、小学1・2年72.4%、小学3・4年61.9%、小学5・6年48.7%であり、男女ともに学年が上がるにつれて家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施率は低下する。実施率は未就学児から小学1・2年では男子よりも



【図11-1】 家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施状況
(4～11歳:全体・子どもの性別・就学状況別)

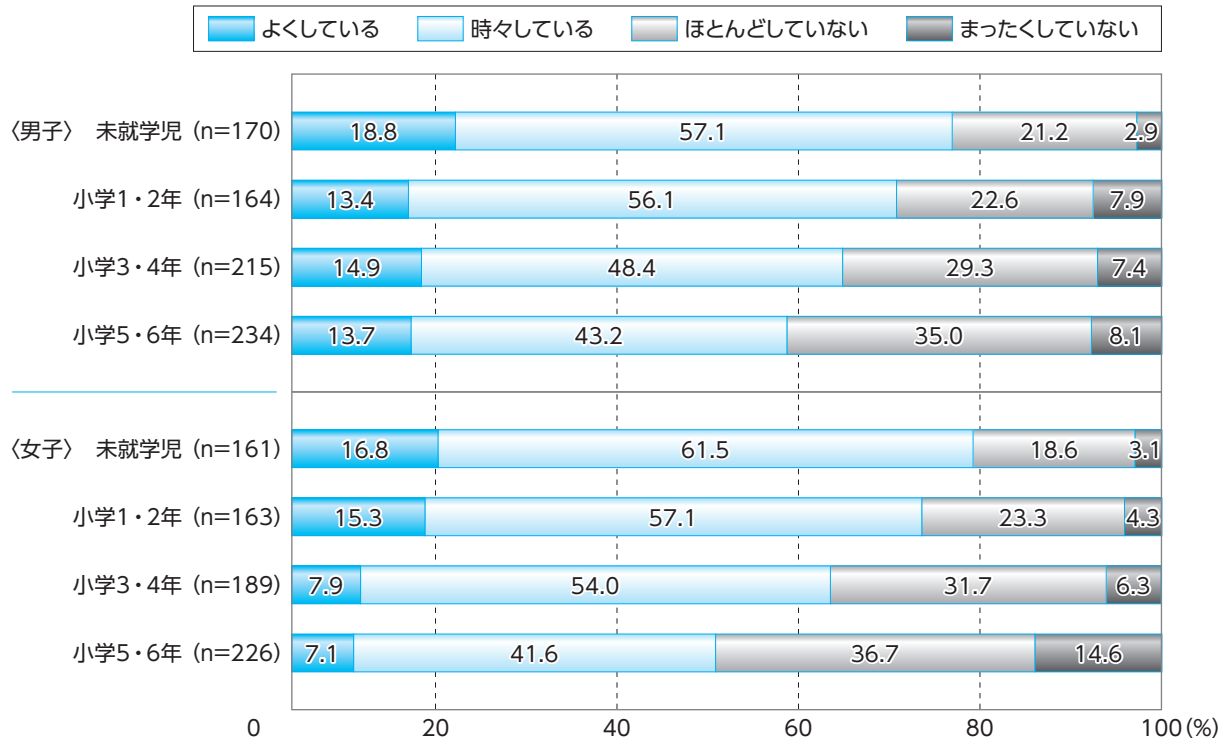
注) 兄弟・姉妹は除く

資料: 笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2019

女子のほうが高いが、小学3・4年で逆転する。小学5・6年では男女差が最も大きくなり、男子が女子を8.2ポイント上回っていた。

図11-3に示す子どもの運動・スポーツ実施頻度群別にみると「よくしている」と「時々している」を合わせた割

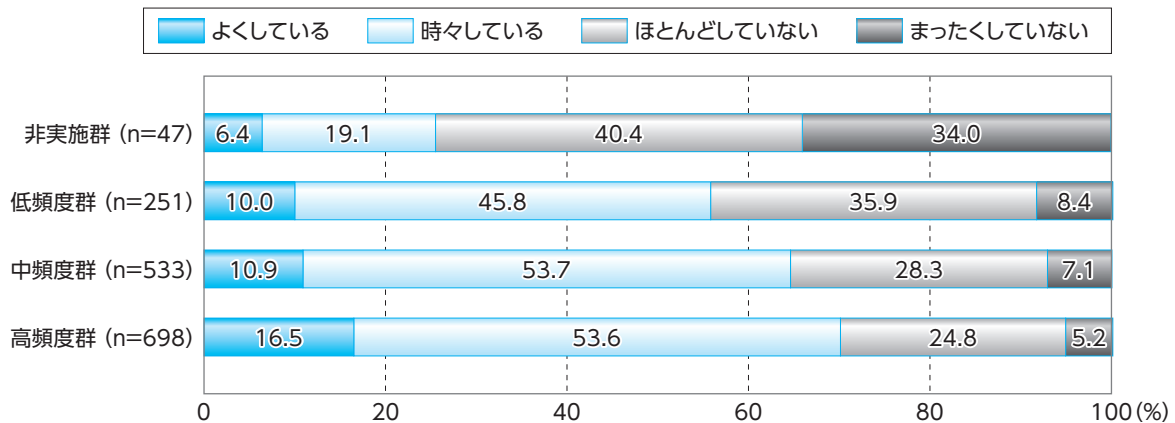
合は、非実施群25.5%、低頻度群55.8%、中頻度群64.6%、高頻度群70.1%であり、運動・スポーツの実実施頻度が高い子どもほど、家族と運動・スポーツ、運動あそびを行っている割合も高い。



【図11-2】 家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施状況
(4~11歳:子どもの性別×就学状況別)

注) 兄弟・姉妹は除く

資料: 笹川スポーツ財団「4~11歳のスポーツライフに関する調査」2019



【図11-3】 家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施状況(4~11歳:頻度群別)

注) 兄弟・姉妹は除く

資料: 笹川スポーツ財団「4~11歳のスポーツライフに関する調査」2019

11-2 子どものスポーツ活動に対する家族のサポートと負担感

4～11歳と12～21歳の回答者の保護者に対し、子どものスポーツ活動への家族によるサポート有無と、主にサポートしている家族、その負担感についてたずねた。

表11-1に示す4～11歳では「練習場所までの送迎」「ユニフォームや練習着の洗濯」は8割以上が家族によるサポートがあり、「練習や試合の付き添い、見学」「お弁当や飲み物の準備」は7割程度であった。

主にサポートをしている家族はほぼ母親であり、送迎からお弁当の準備、お茶当番などの運営の手伝い、ユニフォームの洗濯といった作業までを8～9割の母親が担っている。

サポートへの負担感をみると「なし」と回答した保護者は「お茶当番などの運営の手伝い」は半数程度であったが、それ以外は7～9割を占め、多くの保護者は子どもの

スポーツ活動へのサポートに負担を感じていない状況がうかがえる。

12～21歳では「お弁当や飲み物の準備」「ユニフォームや練習着の洗濯」は8割以上が家族によるサポートがあり、「練習場所までの送迎」「練習や試合の付き添い、見学」は半数程度であった。中学生以上になると、送迎や付き添いといったサポートは減少するが、お弁当や飲み物の準備に関するサポートは増加する。

主にサポートしている家族は、4～11歳と同様にほぼ母親であった。サポートへの負担感は「なし」と回答した保護者は「お茶当番などの運営の手伝い」(60.1%)以外は8割程度を占め、中学生以上のスポーツ活動においても、保護者の多くは負担を感じていないという結果であった。

【表11-1】子どものスポーツ活動に対する家族のサポートと負担感(4～11歳・12～21歳)

(%)

	4～11歳									
	家族のサポート			主に行っている家族				サポートへの負担感		
	n	あり	なし	n	父	母	その他	n	あり	なし
練習場所までの送迎	841	86.3	13.7	718	17.5	79.5	2.9	717	25.2	74.8
お弁当や飲み物の準備	814	69.9	30.1	562	2.7	95.7	1.6	563	16.7	83.3
練習や試合の付き添い、見学	818	75.2	24.8	599	24.2	74.1	1.7	609	20.5	79.5
お茶当番などの運営の手伝い	786	27.9	72.1	216	10.6	89.4	0.0	216	43.1	56.9
ユニフォームや練習着の洗濯	825	87.9	12.1	710	4.1	93.7	2.3	718	9.5	90.5
指導や審判員の補助	780	14.1	85.9	108	63.0	37.0	0.0	108	24.1	75.9

	12～21歳									
	家族のサポート			主に行っている家族				サポートへの負担感		
	n	あり	なし	n	父	母	その他	n	あり	なし
練習場所までの送迎	733	46.7	53.3	340	25.0	73.8	1.2	337	24.6	75.4
お弁当や飲み物の準備	743	80.5	19.5	588	1.4	97.1	1.5	583	19.7	80.3
練習や試合の付き添い、見学	729	54.2	45.8	379	25.6	73.6	0.8	385	16.6	83.4
お茶当番などの運営の手伝い	716	22.6	77.4	156	6.4	92.3	1.3	158	39.9	60.1
ユニフォームや練習着の洗濯	749	89.1	10.9	653	2.0	94.9	3.1	646	14.4	85.6
指導や審判員の補助	711	7.0	93.0	49	69.4	30.6	0.0	47	19.1	80.9

資料：笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2019、「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2019

11-3 子どものスポーツ活動にかかる費用

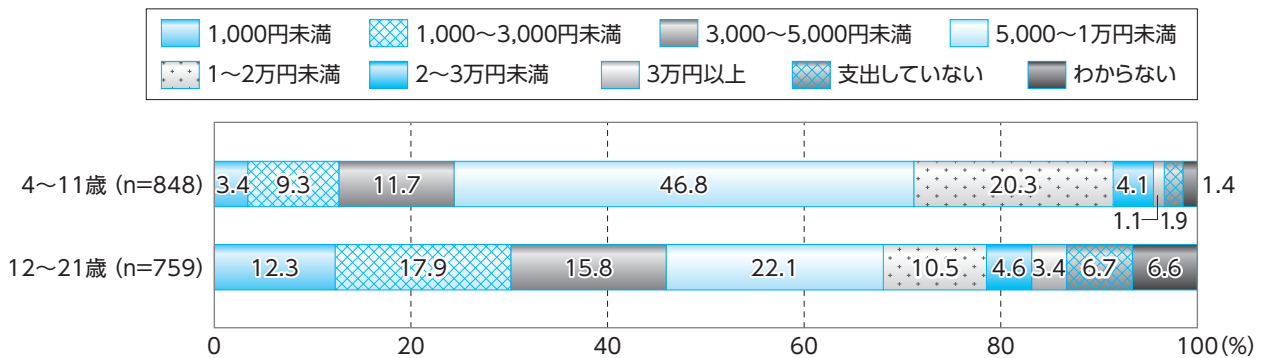
4～11歳と12～21歳の回答者の保護者に対し、子どものスポーツの習いごとや学校の運動部活動などにかかる1ヵ月平均の費用（月謝・用具代・交通費などを含む）と、その支出への負担感をたずねた。

図11-4に子どものスポーツ活動にかかる1ヵ月平均の支出額を示した。4～11歳では「5,000～1万円未満」が最も多く46.8%であり、次いで「1～2万円未満」20.3%、「3,000～5,000円未満」11.7%であった。12～21歳では「5,000～1万円未満」が22.1%と最も多く、次いで「1,000～3,000円未満」17.9%、「3,000～5,000円未

満」15.8%であった。

未就学児から小学生年代では5,000円から2万円くらい支出している家庭が7割を占めるが、中学生以上になると「1～2万円未満」や「5,000～1万円未満」は半減し、1ヵ月あたりの費用は少なくなる。

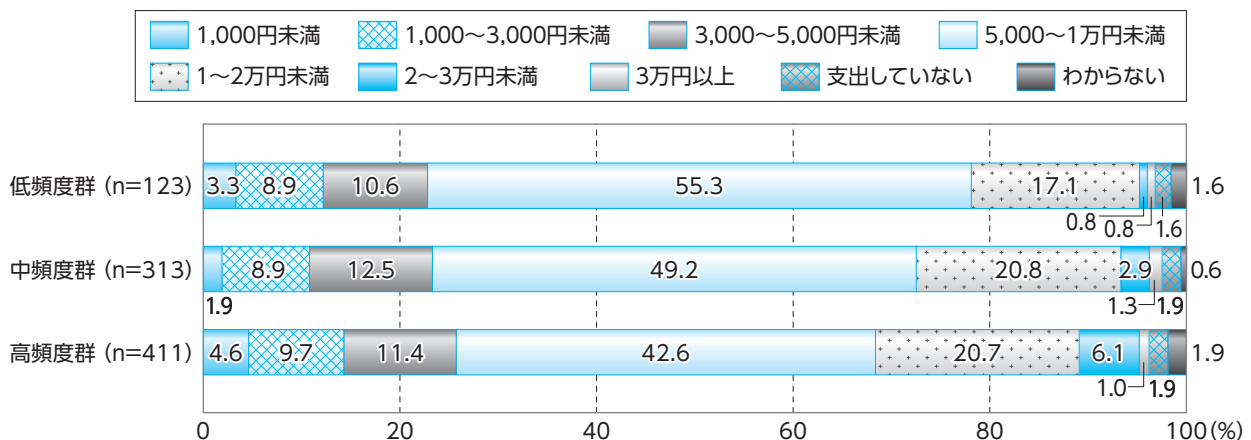
図11-5に示す4～11歳の運動・スポーツ実施頻度群別にみると「5,000～1万円未満」は低頻度群55.3%、中頻度群49.2%、高頻度群42.6%であり、運動・スポーツの実施頻度が高い子どもほどスポーツ活動にかかる費用は少ない。



【図11-4】1ヵ月あたりのスポーツ活動の費用（4～11歳・12～21歳）

注）スポーツの習いごとや学校の運動部などにかかる1ヵ月平均の費用（月謝・用具代・交通費など含む）

資料：笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2019、「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2019



【図11-5】1ヵ月あたりのスポーツ活動の費用（4～11歳：頻度群別）

注1）スポーツの習いごとや学校の運動部などにかかる1ヵ月平均の費用（月謝・用具代・交通費など含む）

注2）運動・スポーツをしていない非実施群を除く

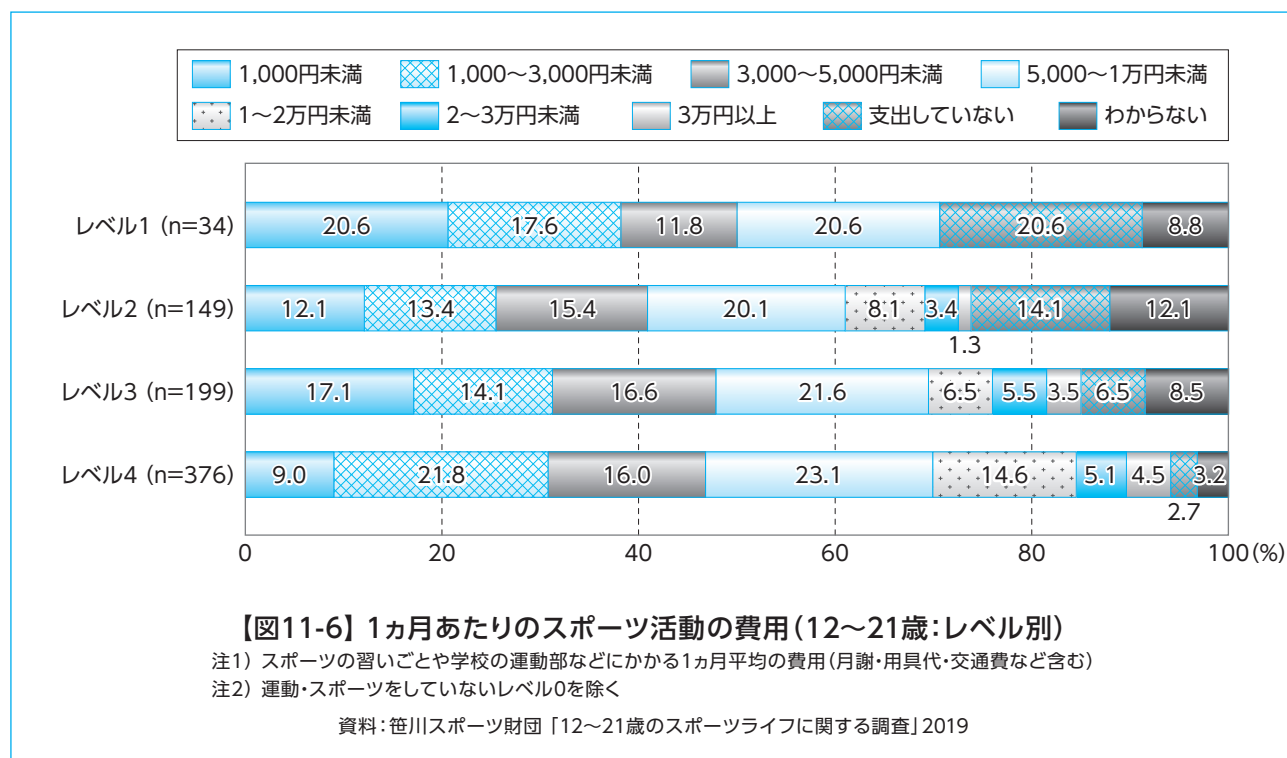
資料：笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2019

図11-6に示す12~21歳の運動・スポーツ実施レベル別にみると、週1回以上実施している「レベル2」以上では「5,000~1万円未満」が最も多く、「レベル2」20.1%、「レベル3」21.6%、「レベル4」23.1%であった。また「1~2万円未満」「2~3万円未満」「3万円以上」の割合は、高水準での運動・スポーツ実施者(レベル4)ほど高くなっている。

表11-2に4~11歳・12~21歳における1ヵ月あたりのスポーツ活動の費用に対する保護者の負担感を運動・スポーツ実施状況別に示した。『感じる』(「感じる」+「どちらか」と感じる)」と回答した割合をみると、4~11歳では低頻度群38.6%、中頻度群37.5%、高頻度群33.9%であり、運動・スポーツの実施頻度が高い子どもの保護者ほどスポーツ活動にかかる費用への負担感は低い。

一方、12~21歳では週1回以上実施している「レベル2」から「レベル4」における『感じる』の回答をみると「レベル2」23.9%、「レベル3」27.2%、「レベル4」35.1%であり、高頻度・高水準で運動・スポーツを行っている青少年の保護者ほどスポーツ活動にかかる費用への負担感は高くなる。

一方、12~21歳では週1回以上実施している「レベル2」から「レベル4」における『感じる』の回答をみると「レベル2」23.9%、「レベル3」27.2%、「レベル4」35.1%であり、高頻度・高水準で運動・スポーツを行っている青少年の保護者ほどスポーツ活動にかかる費用への負担感は高くなる。



【表11-2】1ヵ月あたりのスポーツ活動の費用に対する保護者の負担感(運動・スポーツ実施状況別)

		感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	感じない
4~11歳	低頻度群 (n=119)	5.0	33.6	31.9	29.4
	中頻度群 (n=304)	5.9	31.6	32.6	29.9
	高頻度群 (n=395)	6.3	27.6	38.7	27.3
12~21歳	レベル1 (n=24)	8.3	20.8	29.2	41.7
	レベル2 (n=109)	4.6	19.3	32.1	44.0
	レベル3 (n=169)	1.8	25.4	38.5	34.3
	レベル4 (n=350)	8.0	27.1	36.6	28.3

注1) スポーツ活動の費用: スポーツの習いごとや学校の運動部などにかかる1ヵ月平均の費用(月謝・用具代・交通費など含む)
 注2) 運動・スポーツをしていない非実施群・レベル0を除く
 資料: 笹川スポーツ財団「4~11歳のスポーツライフに関する調査」2019、「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2019